



Grow thru knowledge

GeneXus X Evolution 2

アップグレードガイド

2013 年 4 月改訂

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号 五反田フロント

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2013 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号 五反田フロント

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに	4
アップグレード対象製品	5
アップグレードの流れ	6
アップグレードの実行	8
アップグレードに関する FAQ	16
ライセンスについて	16
作業環境について	17

はじめに

本書では、GeneXus 製品をお使いの方を対象とした、GeneXus X Evolution 2 へのアップグレード方法について説明しています。また、アップグレードについてお問い合わせの多い内容を FAQ 形式で紹介しています。アプリケーションのインストール、ユーザー登録、ライセンス取得などの詳細については、別紙の「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」を参照してください。

GeneXus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

アップグレード対象製品

アップグレード可能な GeneXus 製品は次のとおりです。

- GeneXus 9.0
- GeneXus X
- GeneXus X Evolution 1

上記のバージョンの GeneXus をお使いの場合、無償で GeneXus X Evolution 2 にアップグレード可能です。
アップグレード方法については後述の「[アップグレードの流れ](#)」および「[アップグレードの実行](#)」を参照してください。

注意： GeneXus 8.0 をお使いの場合、GeneXus X Evolution 2 へのアップグレードには差額が発生します。
詳細については、ご購入された販売店または弊社営業部（info@genexus.jp）までお問い合わせください。

アップグレードの流れ

このセクションでは、GeneXus X Evolution 2 のアップグレードの流れについて簡単に説明します。詳細なアップグレード手順については、後述の「[アップグレードの実行](#)」を参照してください。また、GeneXus X Evolution 2 のインストール、およびライセンス取得に関する詳細な手順については、別紙の「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」を参照してください。

GeneXus X Evolution 2 アップグレードの主な流れは次のとおりです：

1. 現在使用しているバージョンの GeneXus 製品に付属の「GeneXus License Manager」で認証されているすべてのライセンスをアンインストールし、製品コンポーネントごとに Keys.gxa ファイルを保存する。
→ **添付ファイル A**
2. アンインストールのエビデンスとして、「GeneXus License Manager」のスクリーンショットを取得する
→ **添付ファイル B**
3. GxProt.log ファイルを用意する → **添付ファイル C**
4. [GeneXus Japan Web サイト](#) から GeneXus X Evolution 2 のインストーラをダウンロードする
5. ダウンロードしたインストーラに同梱されている「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」の手順にしたがって、アプリケーションをインストールする
6. GeneXus X Evolution 2 にバンドルされている「GeneXus License Manager」でライセンスを格納するための .gxa ファイルを生成する → **添付ファイル D**
7. アップグレードする GeneXus 製品の ライセンス番号（6桁の数字）および上記添付ファイル A、B、C、D を購入先の販売店に送付する

注意：販売店のご担当者および弊社直販のお客様は「keysmaster@genexus.jp」宛にライセンス番号および添付ファイル A、B、C を送付してください。

8. 販売店または弊社から送付された GeneXus X Evolution 2 ライセンスを格納した .gxa ファイルを「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」の「**ライセンス取得**」の手順にしたがって取り込む



図 : GeneXus X Evolution 2 アップグレードの流れ

重要 : ライセンスキーは、「GeneXus X Evolution 2」をインストールしたマシンから請求する必要があります。ライセンスキーの請求に使用する「GeneXus License Manager」は「GeneXus X Evolution 2」にバンドルされているバージョンをお使いください。このほかライセンスの詳細については、別紙の「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」を参照してください。

重要 : ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

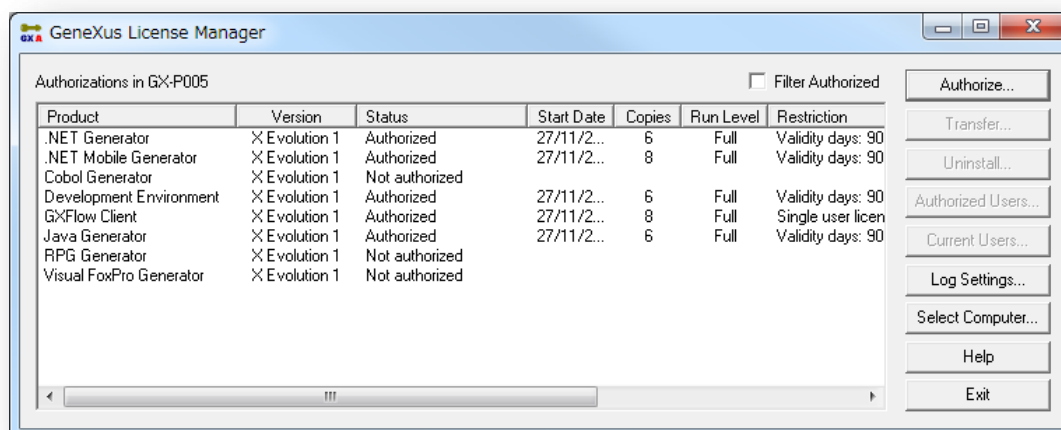
土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

アップグレードの実行

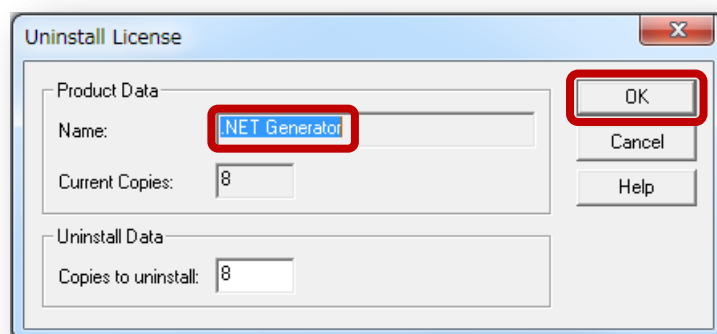
GeneXus X Evolution 2 にアップグレードするには、はじめに現在使用している GeneXus 製品のライセンスをアンインストールする必要があります。また、前述の「[アップグレードの流れ](#)」に記載されている 4 つの添付ファイルの準備も必要です。このセクションでは GeneXus X Evolution 1 を例にして、GeneXus X Evolution 2 へのアップグレード方法を説明します。

1. 現在使用している GeneXus 製品（ここでは GeneXus X Evolution 1）の「**GeneXus License Manager**」を起動します（Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



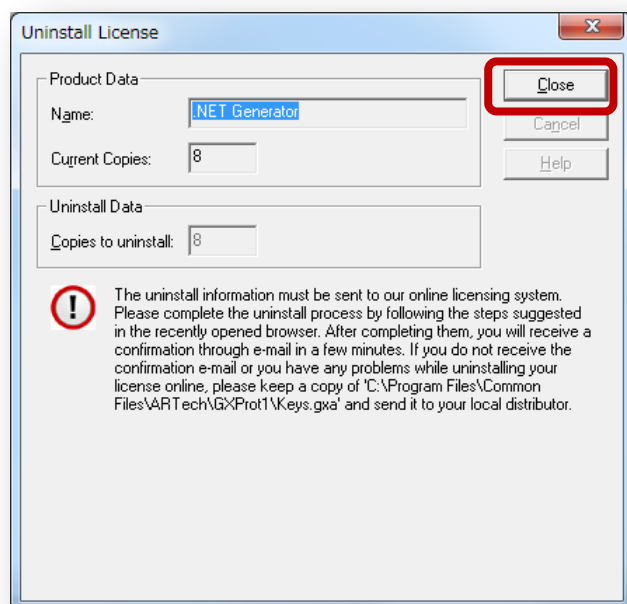
2. GeneXus X Evolution 2 にアップグレードするために、ライセンスをアンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします（製品名をクリックすると、「**Uninstall**」ボタンがアクティブになります）。

次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。



3. 「Copies to uninstall」フィールドには保有しているすべてのライセンス数が表示されます。内容を確認してから「OK」をクリックします。

「Keys.gxa」という名前のファイルが生成されたことを示す次のような画面が表示されます。このファイルは次のパスに保存されます：**C:¥Program Files¥Artech¥ GeneXusXEv1**



注意：プロテクションサーバーをお使いの場合、以下のパスに保存されます：

C:¥Program Files¥Common Files¥Artech¥Gxprot1

4. 「Close」ボタンをクリックします。
5. 「Keys.gxa」ファイルをアンインストールした製品の種類を明記したフォルダにコピーします。

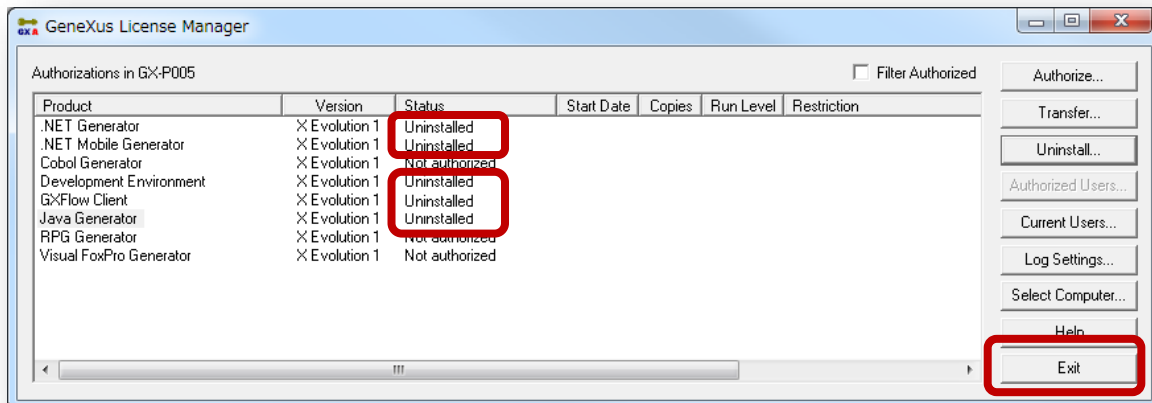
例：dotNETGenerator/Keys.gxa

このファイルが**添付ファイル A**となります。

重要：「Keys.gxa」ファイルは、生成されるたびに Keys.gxa、Keys1.gxa、Keys2.gxa、Keys3.gxa...というように、末尾に番号が追加された状態で保存されます。ファイル名からはどの製品のアンインストールファイルか判断できないため、製品名を記載したフォルダにコピーするようにしてください。

6. 必要に応じて手順 2～5 を繰り返し、ほかの製品のライセンスもアンインストールします。

7. 次のように該当する製品の「Status」が「Uninstalled」になっていることを確認します。



8. 手順 7 の画面をスクリーンショットとして取得します。このスクリーンショットを次のように保存してください：

- ファイルの保存形式：JPEG または PNG を指定
- ファイル名： 貴社名_YYYYMMDD_GXUninstall
例：GeneXusJapan_20130111_GXUninstall.png

このファイルが**添付ファイル B** となります。

9. 手順 7 の画面にある「Exit」ボタンをクリックして終了します。

10. 次の場所に保存されている **GxProt.log** ファイルのコピーを用意します。

C:¥Windows¥

このファイルが**添付ファイル C** となります。

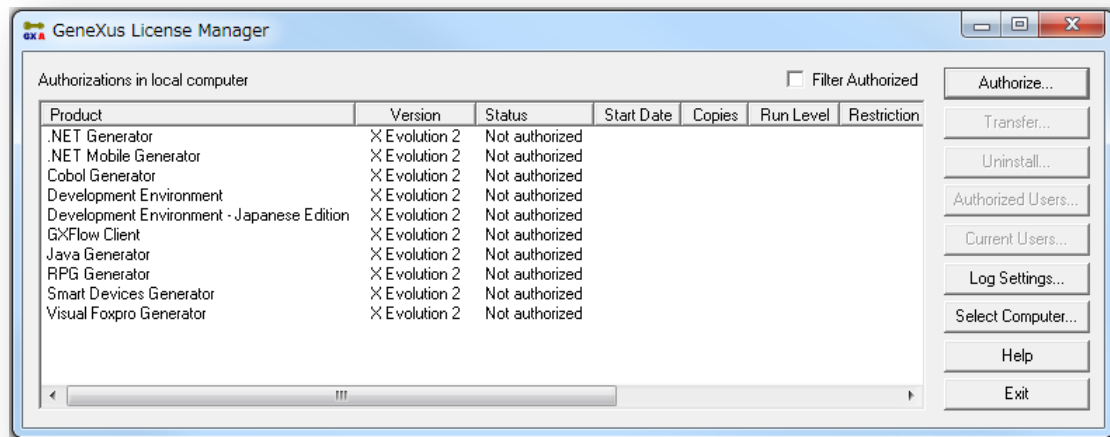
11. 次の GeneXus Japan の Web サイトから GeneXus X Evolution 2 のインストーラをダウンロードします。

<http://www.genexus.com/40/315?ja>

12. ダウンロードした GeneXus X Evolution 2 に付属の「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」にしたがって、アプリケーションをインストールします。

13. インストールが完了したら、GeneXus X Evolution 2 の「**GeneXus License Manager**」を起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

次のような画面が表示されます。

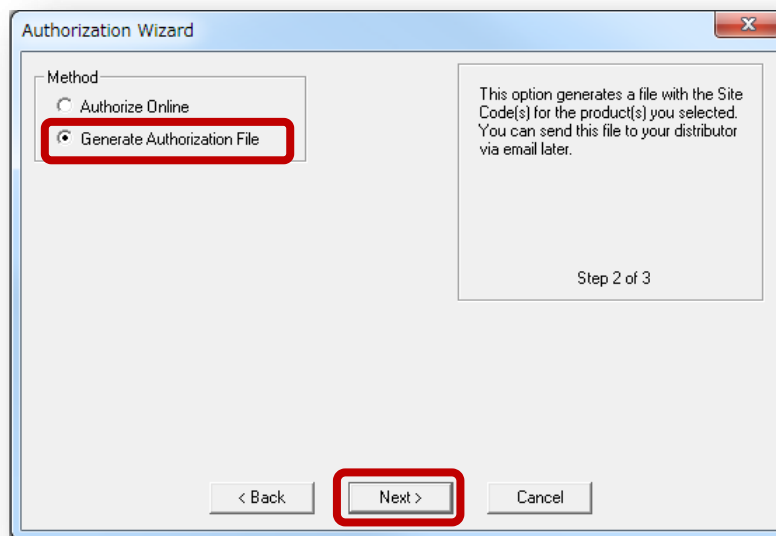


14. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。次のような「**Authorization Wizard**」が表示されます。

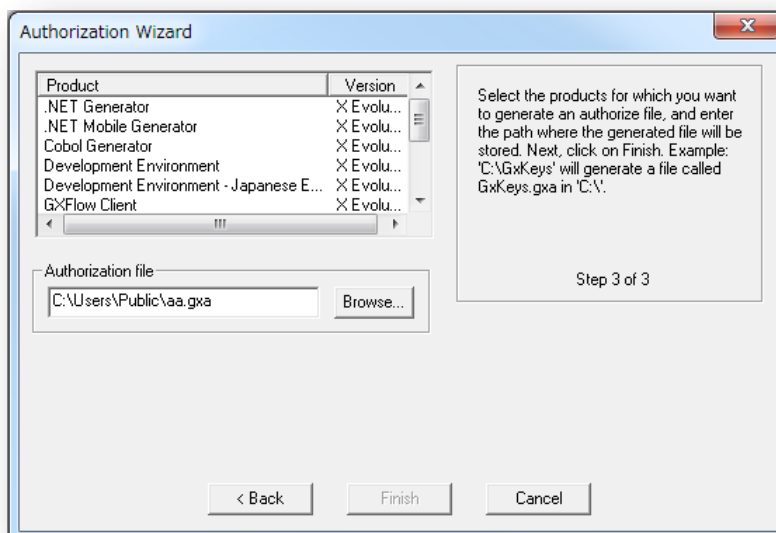


15. 「**Request Licenses**」ラジオボタンをクリックしてから、画面下部にある「**Next**」ボタンをクリックします。

次のような画面が表示されます。



16. 「**Generate Authorization File**」ラジオボタンをクリックして、「**Next**」ボタンをクリックします。
次のようなライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



17. 「**Product**」リストから任意の製品を選択します。

「**Product**」リストに表示される内容は次のとおりです。ライセンスを請求する製品をすべて選択してください：

- **.NET Generator**
- **.Net Mobile Generator**
- Cobol Generator¹
- **Development Environment**²
- **Development Enviroment Japanese Edition**³
- **GXFlow Client**
- **Java Generator**
- RPG Generator¹
- **Smart Devices Generator**
- Visual FoxPro Generator¹

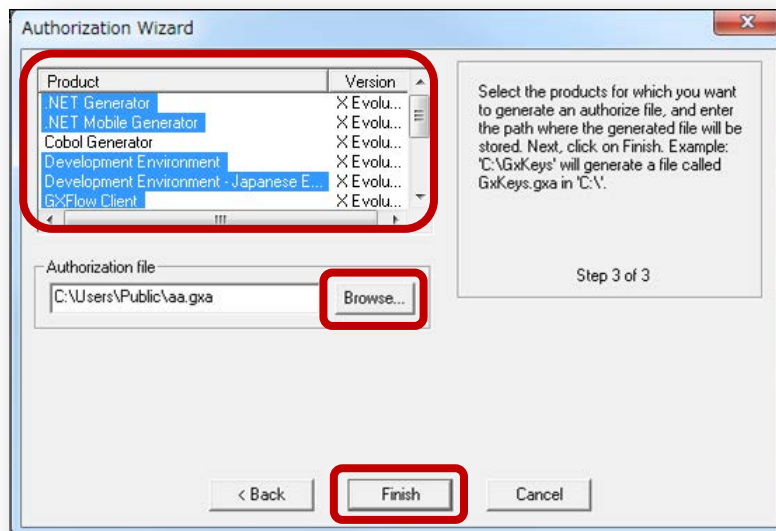
¹ 日本では対応していない為、選択してもライセンスは発行されません。

² GeneXus X Evolution 1 および Evolution 2 の以前のバージョンである Upgrade 2 Preview #3 を併用する場合には、この製品も選択してください。

³ 必須選択項目です。Ruby Generator はこれに含まれています。GeneXus X Evolution 2 Upgrade 2 (リリース版) 以降のバージョンでは「Development Environment」から「Development Environment Japanese Edition」に変更されました。

参考：隣り合う複数の製品を選択する場合は Shift キーを押したままクリックします。それ以外の複数の製品を選択する場合は Control キーを押したままクリックします。

18. 「.gxa」という名前のライセンスを格納するためのファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「**Browse**」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定してから「**Finish**」ボタンをクリックします。



「.gxa」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。

19. 「**OK**」ボタンをクリックします。手順 18 で指定した場所に「.gxa」ファイルが保存されます。このファイルが添付ファイル D となります。



20. 添付ファイル A、B、C、D およびアップグレードする GeneXus のライセンス番号（6 桁の数字）を以下のいずれかに送付します。

- **販売店経由で GeneXus を購入された場合**：販売店の担当者宛に前述の 3 点の添付ファイルおよびライセンス番号を送付
- **弊社から直接 GeneXus を購入された場合**：keysmaster@genexus.jp 宛に次の要領で前述の 3 点の添付ファイルおよびライセンス番号をメールで送信

以下の情報をお書き添えください。

- ◇ 送信するメールの件名：EV2 アップグレード依頼
- ◇ メール本文：
 - ◇ ライセンス番号
 - ◇ 貴社名
 - ◇ ご担当者名
 - ◇ お電話番号
- ◇ 添付ファイル：Keys.gxa ファイル（x 製品コンポーネント分）スクリーンショット、GxProt.log、.gxa

21. 販売店または弊社から GeneXus X Evolution 2 のライセンスファイルが届いたら、「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」の「**ライセンス取得**」セクションに記載されている手順にしたがって、ライセンスファイルを取り込みます。

これで GeneXus X Evolution 2 へのアップグレードは完了です。

アップグレードに関する FAQ

このセクションでは、GeneXus X Evolution 2 にアップグレードする際に、多く寄せられる質問の回答を FAQ 形式で紹介しています。ここに記載されていないご質問や、ご不明な点などございましたら、購入先の販売店または弊社営業部（info@genexus.jp）までお問い合わせください。

ライセンスについて

質問 1 : GeneXus 9.0 と GeneXus X Evolution 1 を併用している環境で GeneXus X Evolution 2 を使用する場合はどのようにすればいいのでしょうか？

回答 1 : GeneXus 9.0 のライセンスはそのままご使用頂けます。GeneXus X Evolution 1 については、本書の手順にしたがって Evolution 2 にアップグレードする必要があります。詳しくは前述の「[アップグレードの流れ](#)」および「[アップグレードの実行](#)」を参照してください。

質問 2 : GeneXus X Evolution 2 へアップグレード後も GeneXus X Evolution 1 を使用し続けたい場合はどのようにすればいいのでしょうか？

回答 2 : 1 つのライセンスで Evolution 1 および Evolution 2 を同時に使用することはできません。ただし、Evolution 2 のライセンスで Evolution 1 が動作するため、Evolution 1 をインストールした PC と Evolution 2 をインストールした PC 間でライセンスのトランスファーを行うことにより、Evolution 1 と Evolution 2 を切り替えて使用することができます。

質問 3 : GXserver のアップグレード料は無償でしょうか？

回答 3 : 年次の継続料に含まれています。追加の費用は発生しません。

質問 4 : GXserver X Evolution 1 と Evolution 2 でライセンスを併用（同一の PC で使用）することは可能でしょうか？

回答 4 : GXserver X Evolution 1 Upgrade 8 をお使いの場合 : Evolution 2 のライセンスを用いることで、Evolution 1 と Evolution 2 を同一の PC 上で稼働させることができます。

GXserver X Evolution 1 Upgrade 6 および 7 をお使いの場合 : GXserver X Evolution 1 の Bin フォルダ内の以下のファイルを置き換えることで、ライセンスの併用が可能になります。

- Artech.Common.Helpers.dll
- Protect.dll

上記の DLL ファイルは次からダウンロードしてください : <http://www.genexus.com/40/315?ja>

ダウンロードした DLL ファイルを次の場所にある同じ名前のファイルと置き換えてください :

<GXserver X Evolution 1 のインストールパス/VDir/Bin>

GXserver X Evolution 1 Upgrade 5 以前のバージョンの GXserver X Evolution1 をお使いの場合 :
併用することはできません。お使いの GXserver X Evolution 1 のバージョンをアップグレードしてください。

作業環境について

質問 1 : 現在 GeneXus X Evolution 1 を使用していますが、Evolution 2 にアップグレードしてもナレッジベースの互換性は保たれるのでしょうか？

回答 1 : Evolution 1 のナレッジベースを Evolution 2 で開くだけで、自動的に Evolution 2 のインスタンスに変換されます（Evolution1 のナレッジベースを初めて Evolution2 で開く際には、確認を求めるメッセージが表示されます）。ただし、一度 Evolution 2 で開いたナレッジベースは Evolution 1 では開くことができません。必要に応じてアップグレード前にナレッジベースのバックアップを用意しておくことをお勧めします。

詳細情報については次を参照してください：

<http://wiki.gxtechnical.com/commwiki/servlet/hwiki?Category%3AConverting+Knowledge+Bases+to+GeneXus+X+Evolution+1+and+Evolution+2>

質問 2 : GXserver X Evolution 1 からアップグレードするにはどのようにすればいいのでしょうか？

回答 2 : GeneXus X Evolution 1 は GXserver X Evolution 1 との組み合わせで動作し、GeneXus X Evolution 2 は GXserver X Evolution 2 との組み合わせで動作します。

つまり、GeneXus X を Evolution 2 にアップグレードした場合、GXserver も Evolution 2 にアップグレードする必要があります。GeneXus X Evolution 1 で作成したナレッジベースを Evolution 2 に変換し、GXserver X Evolution 2 にアップロードすることで、そのまま作業することができます。

ただし、この場合、Evolution 1 でのナレッジベースの履歴を失うことになります。ナレッジベースの履歴を維持したまま、作業環境を移行したい場合には、「GeneXus Server Storage Migration Utility」を使用する必要があります。移行方法の詳細については次を参照してください：

<http://wiki.gxtechnical.com/commwiki/servlet/hwiki?Migrating+a+KB+between+GXserver+instances>

質問 3 : Protection Server でこれまでのライセンスと Evolution 2 のライセンスを同時に管理することは可能でしょうか？

回答 3 : 従来どおりの使用が可能です。Protection Server は異なるバージョンのライセンスキーを一括管理するため、インストールされている GeneXus のバージョンにかかわらず、どの PC からでも接続することができます。ただし、Protection Server のバージョンを 9.1 以降にアップデートする必要があります。最新版の Protection Server は GXtechnical の [Download Center](#) からダウンロードすることができます。ダウンロードには GXtechnical のユーザーアカウントが必要です。詳しくは、「**GeneXus X Evolution 2 インストールガイド**」の「**ユーザー登録**」セクションを参照してください。